Brief Biography of Prof. Kamijo and List of His Selected Works

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/41438

上條　勇教授　略歴と研究業績一覧

略　　歴

1949年　北海道に生まれる
1973年　北海道大学経済学部卒業
1978年　北海道大学大学院経済学研究科単位取得退学
1978年　北海道大学経済学部助手
1981年　金沢大学教養部助教授
1997年　金沢大学経済学部教授
2008年　金沢大学経済学経営学系教授

著書(単著)

1．「ヒルファディングと現代資本主義 —— 社会化・組織資本主義・ファシズム」梓出版社，1987年
2．「民族と民族問題の社会思想史 —— オットー・バウアー民族理論の再評価」梓出版社，1994年
3．「グローバリズムの幻影 —— 市場崇拝と格差社会の経済学批判」梓出版社，2006年
4．「ルドルフ・ヒルファディング —— 帝国主義論から現代資本主義論へ」御茶の水書房，2011年
5．「文化的民族自治の理論 —— マルクス主義と多民族共生への模索」金沢大学経済学経営学系叢書18，2015年
6．「日本を貧しくしないための経済学 —— ほんとうにだいじなお金の話」ナカニシヤ出版，2015年(予定)

共　著

1．「ドイツ革命初期の社会化論争」(『労働運動と経済民主主義』<『労働運動史研究』63号>労働旬報社，1980年)
2．「オーストロ・マルクス主義とスターリン体制」(ヨーロッパ現代史研究会編『国民国家の分裂と統合 —— 戦間期ヨーロッパの経験』学文社，1988年)
3．「バウアー」(丸山敬一編『民族問題　現代のアポリア』ナカニシヤ出版，1997年)
4．「マルクス主義と民族問題 —— オットー・バウアー民族理論の再評価」(『ナショナリズムを読む』情況出版，1998年<『情況』1992年1・2月合併号初出>)
5．「ハプスブルク帝国とオットー・バウアー —— ひとつの帝国の終末論」(『国家を読む』情況出版，2000年<『情況』1997年12月号初出>)
7．「経済学の歴史」(経済学教育学会教科書編集委員会編『新時代の経済学入門』実教出版，補論，1998年)
8．「R. ヒルファディング —— 帝国主義論から現代資本主義論へ」(太田一廣編『経済思想6　社会主義と経済学』日本経済評論社，2005年，第5章)
9．「EUにおける人の移動」(野村真理他編『金沢大学重点研究　地域統合と人的移動　——ヨーロッパと東アジアの歴史・現状・展望』御茶の水書房，2006年)
10．「オットー・バウアーとSPÖリンツ綱領 —— オーストロ・マルクス主義の再評価に向けて」(黒滝正昭他編『ポスト・マルクス研究』ぱる出版，2009年，第2章)

翻 訳 書

1．J. ブラウンタール『社会主義への第三の道 —— オットー・バウアーとオーストロ・マルクス主義』梓出版社，1990年

共訳書

1．ヒルファディング『現代資本主義論』倉田稔・上条勇共編訳，新評論，1983年

2．オットー・バウアー『民族問題と社会民主主義』丸山敬一他訳，御茶の水書房，2001年

論　文

1．「第一次大戦とヒルファディングの帝国主義論」(北海道大学『経済学研究』第26巻第3号，1976年8月)

2．「ヒルファディングの『組織された資本主義』論」(1)－(4)(北海道大学『経済学研究』第27巻第2号－第28巻第4号，1977年5月－1978年11月)

3．「第一次大戦前夜のヒルファディング —— 社会主義と帝国主義」(北海道大学『経済学研究』第29巻第1号，1979年3月)

4．「ドイツ11月革命とヒルファディングの社会化論」(1)(北海道大学『経済学研究』第29巻第3号，1979年8月)

5．「オットー・バウアーの『経済領域』論」(北海道大学『経済学研究』第30巻第3号，1980年11月)

6．「『金融資本論』と『組織された資本主義』論 —— 方法論的考察」(北海道大学『経済学研究』第31巻第1号，1981年6月)

7．「ドイツ社会化運動とヒルファディング ——『経済民主主義』への道」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第20号，1982年)

8．「ヒルファディング『金融資本』概念の再検討」(北海道大学『経済学研究』第32巻第3号，1982年11月)

9．「ヒルファディングの経済政策論 ——『金融資本論』第5篇研究序説」(『金沢大学経済論集』第20号，1983年3月)

10．「O.オットー・バウアー『民族問題と社会民主党』の理論構成について」(『金沢大学経済論集』第21号，1984年3月)

11．「帝国主義論史におけるヒルファディング —— 星野中・保住敏彦両氏

の所説をめぐって」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第22巻第1号，1985年3月)

12.「ヒルファディング『組織された資本主義』論の形成過程 ――『金融資本論』以後のヒルファディング(1914～1923年)」(『金沢大学教養部論集・人文科学編』第23巻第2号，1985年)

13.「若きオットー・バウアーとオーストロ・マルクス主義」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第22巻第2号，1985年)

14.「オーストリア革命とオーストロ・マルクス主義 ―― オットー・バウアーを中心に」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第23巻第1号，1985年)

15.「オットー・バウアーのソビエト・ロシア論」(北海道大学『経済学研究』第36巻第1号，1986年6月)

16.「『組織された資本主義』論と『金融資本論』――『資本の集積・集中』論と組織化」(『金沢大学経済論集』第23巻，1986年3月)

17.「ヒルファディング『組織された資本主義』論再考 ―― その学説史的評価のために」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第24巻第1号，1986年)

18.「オットー・バウアーとオーストロ・マルクス主義」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第24巻第2号，1987年3月)

19.「オーストリア第一共和国初期のオットー・バウアー」(1)(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第24巻第2号，1987年3月)

20.「ヒルファディング組織資本主義論の問題点 ―― 1986年11月20日の『ヒルファディングの会』シンポジウムでのW. Gottschalch教授の報告に対する一コメント」(『金沢大学経済論集』第24号，1987年3月)

21.「第一次大戦後オーストリアの財政危機とO. バウアー」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第25巻第2号，1989年3月)

22.「戦間期のバウアーとオーストロ・マルクス主義 ―― いわゆる『バウアー神話』について」(『金沢大学経済論集』第26号，1989年3月)

23.「民族概念と民族自決権 ―― 丸山敬一著『マルクス主義と民族自決権』(信山社，1989年)によせて」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第28巻第1号，1990年)

24.「オーストロ・マルクス主義とファシズム ―― オットー・バウアーの

1934年」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第20巻第1号，1991年)

25.「オーストロ・マルクス主義における資本主義と社会主義 —— 社会民主主義再評価の動きに関連して」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第29巻第2号，1992年)

26.「オットー・バウアーのファシズム論」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第30巻第1号，1993年)

27.「オットー・バウアーの民族概念 —— マルクス主義民族理論の反省」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第30巻第2号，1993年)

28.「ベルンシュタインの生涯と思想」(『情況』1995年1月号)

29.「ヒルファディングの自由貿易政策論」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第32巻1号，1995年)

30.「第二インターのマルクス主義者たちと戦争」(『情況』1998年3月号)

31.「ウィーン1996年 ——『EU選挙とオーストリア』と『オットー・バウアーのウィーン』」(『金沢大学経済論集』第38号，2001年3月)

32.「オットー・バウアーと民族問題 —— O. バウアー『民族問題と社会民主主義』に関する一考察」(『金沢大学経済学部論集』第23巻第2号，2003年3月)

33.「ヒルファディング恐慌論の意義と限界 ——『金融資本論』第4篇研究序説」(『金沢大学経済学部論集』第25巻第2号，2005年3月)

34.「ヒルファディング経済政策論の再検討 —— 経済学史の視点から」(『金沢大学経済学部論集』第27巻第1号，2007年1月)

35.「民族問題思想におけるレンナーとバウアー —— オーストロ・マルクス主義の民族的自治論を中心にして」(『金沢大学経済論集』第29巻第1号，2008年12月)

36.「オーストロ・マルクス主義の危機 —— 7.15事件とSPÖの党内論争」(『松山大学論集』第21巻第4号，2010年3月)

37.「経済学と私 —— 激動の歴史とともに歩んで」(『金沢大学経済論集』第30巻第2号，2010年2月)

38.「ヒルファディング研究の視角 —— 自著を語る」(『金沢大学経済論集』第33巻第1号，2012年12月)

39.「両大戦間期におけるオットー・バウアーの合理化論」(『金沢大学経済論集』第34巻第1号，2013年12月)

40.「若きオットー・バウアー —— 彼のカウツキー宛ての手紙に基づいて」『金沢大学経済論集』第34巻第2号，2014年3月)

研究ノート

1.「世界大不況下のヒルファディング」(『金沢大学教養部・人文科学篇』第21巻，1983年)

要約紹介

1.「＜要約紹介＞オットー・バウアー著『民族問題と社会民主党』」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第22巻第1号，1984年)

研究動向

1.「帝国主義論と修正主義論争」(『経済学史学会年報』1995年)

海外報告

1.「ヨーロッパ・レポート2005.3」(1)(2)(『金沢大学経済学部論集』第26巻第1号，2号，2006年1月，3月)

学会報告

1.「オットー・バウアーとオーストロ・マルクス主義」社会思想史学会第16回大会，1991年10月5日(『社会思想史研究』第16号，1992年)

2.「オーストロ・マルクス主義と民族問題 —— オットー・バウアーを中心に」経済学史学会第59回全国大会第3フォーラム「民族問題と経済学」，

1995年10月29日

翻訳論文

1．「ヒルファディング『資本主義発展の固有の法則性』」(北海道大学『経済学研究』第28巻第3号，1978年8月)
2．「R. ヒルファディング『信用恐慌の諸問題』『社会主義と所有』」(『金沢大学教養部論集・人文科学篇』第21号，1983年)
3．「オットー・バウアー『オーストリア諸民族の自決権』」(『金沢大学経済論集』第30巻第1号，2009年12月)

書評論文

1．「民族問題の現代的視座 —— 加藤一夫著『歴史の転換と民族問題 —— ナショナリズム・ルネサンスの時代』を読んで」(『情況』1993年11月号)
2．「ヒルファディング研究の新展開 —— 黒滝正昭著『ルードルフ・ヒルファーディングの理論的遺産』の意義と問題点」(『宮城学院女子大学研究論文集』第81号，1995年6月)
3．「社会主義への見果てぬ夢 —— 嶺野修『グレート・ユートピア —— 20世紀世界の改造を夢みた人たち ——』2013年」(『金沢大学経済論集』第35巻第1号，2015年2月)

書　評

1．「松葉正文著『金融資本と社会化 —— ワイマル初期ドイツ金融資本分析 ——』」(『立命館産業社会論集』第21巻第2号，1985年9月)
2．「保住敏彦著『ヒルファディングの経済理論 —— 金融資本・帝国主義・組織資本主義をめぐって ——』」(『社会思想史研究』第9号，1985年)
3．「倉田稔著『ウィーンの森の物語』」(小樽商科大学『人文研究』95輯，1998年3月)

4．「保住敏彦『社会民主主義の源流』，世界書院，1992」(『経済学史学会年報』第31号，1993年11月)
5．「伊藤成彦著『ローザ・ルクセンブルクの世界』」(『社会思想史研究』第16号，1992年)
6．「河野裕康『ヒルファディングの経済政策思想』」(『経済学史学会年報』第32号，1994年)
7．「若森みどり『カール・ポランニー ―― 市場社会・民主主義・人間の自由』NTT出版，2011，iv＋288頁」(経済学史学会『経済学史研究』54-2，2013年1月)

辞　典

1．『経済思想史事典』有斐閣，2001年「オットー・バウアー」，「経済民主主義」の項目
2．石塚正英他編『哲学・思想翻訳語事典』論創社，2003年「革命」の項目

そ の 他

1．「『ヒルファディングと現代資本主義』の出版を振り返って」(金沢大学経済学部地域経済資料室「Cures newsletter」第7号，1988年4月15日)
2．「金沢大学改革の経過と問題」(『全大教時報』Vol. 17, No.5, 1993年. 10月)
3．「大学教員の任期制と大学における研究」(金沢大学経済学部地域経済資料室「Cures newsletter」第43号，1997年7月25日)
4．「異端のマルクス主義と西欧社会民主主義の源流 ―― R. ヒルファディングとO. バウアーにもっと注目を」(北海道雇用経済研究機構『Heero Report』No.118，2011年6月)